

資生堂、上海第九人民医院とパートナーシップを締結 ～メディカルビューティー領域を開拓～

資生堂は、資生堂(中国)投資有限公司(以下 資生堂中国)を通じて、三級甲等病院[※]である上海第九人民医院(Shanghai Ninth People's Hospital、以下 上海九院)とパートナーシップを締結することが決定しました。資生堂の中期経営戦略「SHIFT 2025 and Beyond」における中国地域の主要な戦略の一つ「新領域開発」の実現に向け、形成外科領域の権威である上海九院とのパートナーシップにより、メディカルビューティー領域の開発を目指します。

[※]三級甲等病院は中国の《医院分級管理办法》(病院分級管理法規)により、最高レベルに分類されている病院です。

上海九院の形成外科部門は、中国で唯一の形成外科の学術機関です。世界最大の形成外科センターであり、中国最大の形成外科教育研究センターでもあります。資生堂は100年以上にわたり、スキンビューティーを軸に研究開発を行ってきました。両者のパートナーシップにより、上海九院の先進的なメディカルビューティー技術と豊富な臨床経験が、資生堂の最先端の肌研究の知見と組み合わせられ、より革新的な商品とサービスを中国の消費者に提供していきます。

近年、資生堂中国は、中国現地でのイノベーションを加速するため、2019年に中国現地の市場動向をとらえた、新たな価値創造と新規事業開発の推進拠点として「中国事業創新投資室(China Business Innovation & Investment Office)」を設立し、2020年に中国・上海奉賢区の美容・健康産業特区「東方美谷(The Oriental Beauty Valley)」に研究開発の拠点を開設しました。さらに、2021年に新興企業に投資する「資悦ファンド」を設立し、第一号の投資案件として、2022年に医療および化粧品向け遺伝子組換えコラーゲンの製造・販売会社「江蘇創健医療科技有限公司(Jiangsu Trautec Medical Technology Co., Ltd.)」への投資を発表しました。

引き続き、中国現地でのイノベーションを推進することで、中国消費者のニーズに合わせた商品とサービスをタイムリーに提供することを目指す同時に、現地パートナーとの連携により中国市場でのプレゼンスをさらに高めていきます。